

新潟薬科大学応用生命科学部

教授陣紹介



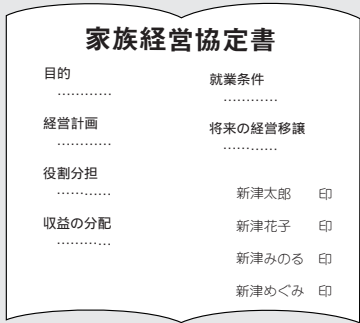
ひと ひと
女・男
ひろば

<第16回>

男女共同参画の大きな柱
家族経営協定

これからも農業が発展し、そこに携わる若い世代や女性が、いきいきと働ける条件づくりを進めるために、今「家族経営協定」が注目されています。

それぞれの農家の状況に応じて、家族内の就業条件や経営管理、円滑な世代交代、将来の生活設計などについて、家族で話し合い、その結果を文書にして協定を結ぶものです。文書にすることによって、報酬の額や労働時間などが具体的な数字となって表れ、また家事労働の評価にもつながるため、女性農業者の地位の確立や、経営への参加を促す面からも大きな意義を持っています。



平成14年7月1日(毎月1日・15日発行)広報について

編集・発行/新潟県新津市/〒956

8601新津市大字程島2009番地/☎0250

24 2111(代)



食品生物工学・分子科学研究室教授

あじさか
鯨坂 勝美 さん

今のクラブに入り、神奈川県で三位になったこともありです。これまでどのような研究をされてきましたか？

東京工業大学大学院理工学研究科化学課程を修了後、味の素株式会社に入社しました。その後中央研究所で機器分析や医薬品開発の研究を十四年間行つた後に、味の素株式会社を退社して明治乳業株式会社に入社しました。明治乳業のヘルスサイエンス研究所では、糖に関する研究を行いました。「糖」というと砂糖やでんぷ

んなどを思い浮かべる人が多いと思いますが、それ以外にもいわゆるオリゴ糖と呼ばれる糖類の中には、人間の健康にとって重要な働きをする糖がたくさん知られています。特に母乳の中には百種類もの有用なオリゴ糖が含まれていて、赤ちゃんが病気になるのを防いでいます。私も新しいオリゴ糖を見つけて実用化するための研究を行いました。研究室のアピールポイントは？

このたび着任した食品科学科では、これまでの経験を生かして高次機能をもった食品、言い換えれば食品と医薬品の間で位置するような、新しい食品素材の研究を行つつもりです。あくまでも実用化ということを念頭に置いて、実際に人類の役に立つ研究を行つていきたいと思っています。市民へのメッセージをお願いします。



身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301
http://www.city.niitsu.niigata.jp/

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142
http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/

新潟県立植物園

☎0250-24-6465
http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/